山里小学校だより　第１２号　R5.1.12

やさしさと思いやりで笑顔がいっぱい

文責　校長　中島　由広

３学期が始まりました！

皆様、新年あけましておめでとうございます。今年もよろしくお願いいたします。

始業式の日、学校に子どもたちのにぎやかな声が戻ってきました。新学期を迎えて、子どもたちの元気な姿を見たり、にぎやかな声を聞いたりするたびに、学校は、子どもあっての学校だなあとつくづく思います。

そのような中、本校ではオンラインによる始業式を実施しました。

校長の話として、子どもたちには次のようなことを伝えました。

令和５年は「うさぎどし」である。ピョンピョンはねるのが得意なうさぎにあやかって、令和５年は「飛躍の年」にしてほしい。「飛躍」とは簡単に言えば、「成長する」・「前より良くなる」ということである。

次の３点において飛躍してほしい。

① 勉強
② 「あいさつ」・「もくもく掃除」・「はきものならべ」の生活３点セット
③ 自分や友達のよいところを見付ける

これらをがんばってそれぞれが飛躍（＝前より少しでも良くなるよう努力）し、「やさしさと思いやりで笑顔がいっぱい」の山里小学校を作っていきましょう。

その後、児童代表として、２年 N.H さんと４年 H.S さんの２人が「３学期にがんばりたいこと」を発表してくれました。

〇３学期にがんばりたいことは二つ。

一つ目は算数の学習。算数は苦手だけど、授業で出てきたきまりを覚えたり、練習をたくさんしたりすると分かるようになってきた。３学期もそれを続けてがんばりたい。

二つ目は、自分から行動すること。２学期は配り係の仕事を進んでできた。３学期は係だけでなく、いろんなところで先生に言われる前に行動できるようがんばる。３学期は３年生になるための準備をしっかりしていきたい。

（２年 N.H さん）

〇３学期にがんばりたいことは二つある。

一つ目は、国語の物語文と説明文をもっと勉強すること。私は文章題が苦手で、特に何を読み取ればいいのかを悩んでしまう。３学期はさらにていねいに文章を読んで理解し、正しい答えを書けるように努力して苦手を克服したい。

もう一つは、これから、「自分のクラスのいいところ」をどう伸ばしていくかということ。もともとあいさつがよくできる人がクラスにいるが、私はもっとみんながいっぱいあいさつをして、あいさつがいっぱいのクラスにしたい。なぜなら、あいさつはした方もされた方も気持ちが良いからだ。そのために私は積極的に友達や先生方、地域の人にあいさつをしたい。

（４年 H.S さん）

３学期は１年で一番短い学期です。油断しているとあっという間に過ぎてしまいます。

子どもたちにとって実り多い学期になるよう、そして山里小学校が飛躍するよう、職員一同頑張ってまいりますので、ご協力のほどよろしくお願いいたします。